東京市日本橋區本町三丁目
株式會社 博文館編輯部
電話本局二一〇八二番

大正 年 月 日

様

二日ずゝ

博文館編輯部

博文館編輯部

とゝもに見れずさうです。

とが弾と迫りつゝあるから、国民は

短弾とゆ指哉ふ手

ですから 甚だ窮屈千万ですが、平生の

ゐ独にお起りゆし、かく

います。若し其の執筆に

博文館編輯部

その後はけを添ふしてみます、

ちか、世界春男の後ゆ

ますゝ、ふゝ甚だ

とゆます。実は幸の

甲は新流行の

実際に倣ふて

みますが、ほりれし

博文館編輯部